

令和2年度千葉大学先進科学プログラム入学者選考課題
人間科学関連分野 方式Ⅱ

配点・解答例・採点のポイント

問1 (配点)

- ・20点満点。部分点あり。

(解答例)

- ・実験や調査から得たデータの分析にもとづいて、その現象の基礎にある法則性を発見できる。
- ・実際の社会とのかかわりから課題を発見し、課題の解決方法を提案できる。
- ・ディベートを通じて、指定されたテーマに関する資料を的確に収集し、意見を論理的に組み立てることができる。
- ・プレゼンテーションを通じて、調べたことや学んだことを説得的に他の人に伝えることができる。

問2 (配点)

- ・20点満点。部分点あり。

(解答例)

生きた知識とは、知識の要素の断片が単に集められたものではなく、それぞれの要素が互いに意味をもって関係づけられており、新たな要素が加わると、それまで諸要素を関係づけていた法則（システム）が再編成されていく要素の集まりである。さらに、すでに持っている知識を組み合わせることによって、新しい知識を生み出すことができる。

問3 (配点)

- ・30点満点。部分点あり。

(採点のポイント)

- ・事実は、視点によって異なる点がふまえられている。
- ・その視点は人々が育ってきた環境や経験で異なるものである点がふまえられている。
- ・母語の習得以外の具体例が適切に用いられている。

問4 (配点)

- ・30点満点。部分点あり。

(採点のポイント)

- ・人間の心や行動、社会、文化の解明に関わる問題意識がある。
- ・発想が斬新である。
- ・考えが、複数の学問分野を横断している。
- ・自分の考えを論理的に展開できている。